

健康経営宣言

1. 目的

アポプラスキャリア株式会社は、代表取締役社長を健康経営推進の最高責任者とし社員の健康保持・増進のため、以下の事項に取り組んでまいります。

1. 定期健康診断を100%受診します。
2. 定期健康診断の結果の活用をします。
3. 健康づくり環境を整えます。
4. 「食」に取り組めます。
5. 「運動」に取り組めます。
6. 「節煙」に取り組めます。

2. 健康経営で解決したい経営上の課題や数値目標・体制

当社では、従業員とその家族の健康こそが生産活動の原動力になると考え、各人の生き方に価値を見出せる就業環境を整備して参りました。

経営課題である「更なる生産性向上」を目指し、健康経営全体の目標として「健康診断有所見率11%(業態平均73.4%)」を目標と定め、結果、10.9%(前年実績12%)に改善いたしました。2025年度は10%を目標とし、「食」「運動」「節煙」に関する個別目標を定めております。また、健康経営推進の主担当を設け、東京薬業健康保険組合の協力を得て、各種健康増進策に積極的に取り組んでおります。

3. 主な健康管理指標と取り組み

アポプラスキャリアでは以下の指標を大切にしています。

当社では、それぞれの指標をより良くしていくことが、社員の健康保持・増進・健康経営の改善に繋がると考えております。

- ① 定期健康診断100%受診への取組：定期健康診断を受診した人の割合
⇒管理職研修や従業員向け研修で健康診断の意義や必要性について啓発し、個々の健康意識の向上から自発的な受診を助長させられるよう取り組みます。
- ② 定期健康診断結果活用への取組：東京薬業健康保険組合との連携
⇒データヘルス計画を共同で策定・推進し、スコアリングレポートから課題を策定。
施策の効果的な実施方法まで協議し実行します。
- ③ 健康づくり環境への取組：健康従業員のヘルスリテラシー向上
⇒健康経営推進者を中心に、従業員のヘルスリテラシー向上を目指し「食生活の改善」「運動機会の増進」「受動喫煙対策」等の健康増進に向けた具体的な施策を実施します。

◇主な 2024 年の目標値と直近の実績及び従業員アンケート結果は以下のとおりです。
 (対象従業員は勤続 1 年以上の従業員としています)

【2022～2024 年度実績、2025 年度目標】

健康管理指標	実績・社内アンケート結果	2022 年度 実績	2023 年度 実績	2024 年 度実績	2025 年度 目標
定期健康診断 100%受診への取組	定期健康診断の受診率	90.0%	100%	100%	100%
有所見率	産業医が再検査の必要あり と判定した割合	70.8%	12.0%	10.9%	10.0%
「食」への取組	食習慣の目標を達成または 改善したと回答した割合	65.0%	65.0%	66.0%	70.0%
「運動」への取組	運動習慣の目標を達成また は改善したと回答した割合	72.0%	72.0%	74.0%	80.0%
「節煙」への取組	節煙できたと回答した割合	-	-	-	20.0%

【その他の 2022～2024 年度実績】

項 目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
残業時間（平均時間）	17 時間	18 時間	17 時間
年休取得率（%）	86%	84%	84%
平均勤続年数（年）	6.2 年	6.4 年	6.8 年
傷病による休職の状況（人）	0 人	1 人	1 人
精密検査受診率（%）	14.3%	47.4%	48.0%
ストレスチェック受検率（%）	100%	100%	100%
高ストレス者の割合(%)	15.4%	8.6%	11.8%
運動・食生活改善に向けたアプリ利用（%）	—	100%	100%

※全従業員に占める対象者の割合

※法人として従業員の健康を守るため付帯物のアプリを活用

※従業員の習慣的な運動機会創出のためアプリの活用と並行し、全社員参加のラジオ体操を月 1 回実施。

【問診票の集計結果（％）】

項目	2022年度	2023年度	2024年度
(a)適正体重維持者率 ※BMIが18.5～25未満の者	83.2%	67.3%	76.9%
(b)喫煙率	14.9%	17.7%	16.6%
(c)運動習慣者比率 ※1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している人の割合	21.6%	23.7%	27.9%
(d)「睡眠により十分な休養が取れている人」の割合	69.1%	69.7%	63.3%
(e)飲酒習慣者率 ※頻度が時々または毎日かつ飲酒日の1日当たりの飲酒量が清酒換算で2合以上の人の割合	3.0%	3.9%	14.8%
(f)血圧リスク者率 ※収縮期血圧180mmHg以上 または拡張期血圧110mmHg以上の人の割合	0.0%	0.0%	0.0%
(g)血糖リスクと考えられる人の割合 ※空腹時血糖が200mg/dl以上の人の割合	0.0%	0.0%	0.0%
(h)糖尿病管理不良者率 ※HbA1cが8.0%以上の人の割合	0.7%	0.0%	0.0%

【ワークエンゲージメント（仕事に対する活力・熱意）】

項目	2022年度	2023年度	2024年度
「仕事による私生活の充実度」の平均得点 (偏差値100点満点。高いほど良い)	52.4	53.8	52.5
「仕事による私生活への支障度」の平均得点	50.7	51.2	49.2

【ストレスチェックの集計結果】

※高ストレス者率(%)：2023年度 8.6% 2024年度 11.8%(3.2%増)

項目	2022年度	2023年度	2024年度
「働きがいのある仕事だ」の平均得点 (偏差値100点満点。高いほど良い)	50.7	52.6	53.3
仕事の量的負担の平均得点	50.9	50.4	47.5
仕事のコントロールの平均得点	52.0	55.5	55.7

項目	2022 年度	2023 年度	2024 年度
上司の支援の平均得点	52.1	53.6	55.9
同僚の支援の平均得点	50.6	53.6	53.3

【女性の健康に関する研修】

- ・女性の健康に関するリテラシー向上のため、男性を含む全管理職に向け、「女性特有の疾患に関するセミナー」を年 1 回開催。

※参加率：当日参加 31.0%、WEB 録画内容を全社員に展開(100%)

【プレゼンティーイズム(生産性損失割合)】

出勤している従業員の労働遂行能力の低下による労働損失。

当社では、世界保健機関が定める設問と指標を採用しております。

	損失割合
2023年度	24% < 計算式 > $100\% - 7.6(\text{回答平均値}) \times 10 = 24\%$
2024年度	23% < 計算式 > $100\% - 7.7(\text{回答平均値}) \times 10 = 23\%$

<参考> ARM 社データより引用

■全業態のプレゼンティーイズム損失幅は 20～40%程度

■全業態の損失幅は 20～40%程度、業種によって違いがあり、情報通信は 30%台後半と高め。

※パーセンテージが高い程、生産性損失が高い